

私たちまちづくりA班は、「未来描き隊」として、子どもたちの描く“未来のまち”が、大人たちの新しい視点や気づきにつながることを目指して活動しています。夏休みには、新潟市立大野小学校の学童保育を訪問しました。子どもたちが描くまちは、どれも個性的でわくわくするアイデアに溢れ、楽しく会話しながら活動を行うことができました。その後、子どもたちの作品をふるさと村で展示し、その場で絵を描けるワークショップも実施しました。親子連れの来場が多く、保護者の方にも参加していただくことで、多くの世代が交流できる場となりました。これらの活動から、私たちは改めて「子どもたちの描く未来のまち」には大きな魅力と可能性があると感じました。今後は、子どもたちの作品をもとに「未来のまちカルタ」を制作し、地域のイベントに積極的に参加することで、世代を越えたつながりをさらに広げていきたいと考えています。



ふるさと村での子供たちの絵の展示



ふるさと村でのワークショップの様子



大野ひまわりクラブ第一での活動の様子

私たちは古町の地域おこしに関わる人々にインタビューを行い、その活動を広めることで古町に眠る魅力を多くの人に伝えたいと考えています。

最初に、新潟古町みなと情報館の小倉さんにお話を伺いました。古町5～9番町や本町で商店街の運営やイベント、駐車券サービスなどを行い、「古町どんどん」などを通して地域のにぎわいづくりに取り組んでいます。老朽化や後継者不足といった課題もありますが、「居心地の良い商店街づくり」を目指して努力を続けています。

次に、「古町横丁」を主催するモアソビの永井大地さんにお話を伺いました。古町横丁は、多くの観光客や外国人を魅了する「横丁文化」を新潟で再現することを目的に始まったイベントです。本格的な屋台やステージ、展示などを通じて人々が交流できる場を生み出し、古町の新たな魅力を発信しています。

これからも古町の魅力を多くの人に伝えられるよう活動を続けていきたいです。

私たちは「Z世代に古町の魅力を伝えるには」というテーマで探究活動をしています。現在、古町は万代シティができたことにより、商店街の高齢化が進み、求心力を失いつつあります。そこで、Z世代の若者をターゲットに集客し、次世代に繋いでいくことで、古町を活性化できると考え、この活動を始めました。

私たちは、どうしたらZ世代に古町の良さを知ってもらえるかについて、考察を立てました。Z世代は「Googleで調べる」より「TikTokで探す」、「専門家の意見」より「リアルな体験談」という感覚が強い世代です。それを踏まえて、SNSを使って古町の情報を発信し、たくさんの人に見てもらえれば古町の良さが広まるのではないかと考えました。

実際に今TikTok Instagramのアカウントを作り、古町のカフェを訪問してそこでの情報を投稿しています。今後も投稿を続け魅力を広めていきたいと思えます。ぜひフォローよろしく願いします！

TikTok : @tan9chan

Instagram : @tankyuchan

私たちは私たちは若い世代に環境問題への興味関心を持ってもらうきっかけを作ることが目的にしています。そのための活動としてゲーム要素を取り入れたゴミ拾いイベントを開催し、チームに分かれてゴミ拾いをしながらミッションやクイズに挑戦してもらいました。参加者からは「ゴミの種類や環境への具体的な被害を知れて積極的になれた」や「競うことでゴミ拾いのモチベーションが上がってとてもいいと思った」などのポジティブな感想をいただきました。この活動を通して私たち自身も、環境問題やボランティア活動への参加意欲を高めることができ、とても良い経験になったと感じています。キレイな新潟市をつくるために皆さんもできることからぜひ取り組んでみてください。ひとりひとりの小さな積み重ねが大きくなって市を変えることができるかもしれません。



RPG型海岸清掃イベントの様子



イベントで参加者の皆様が集めた海岸のゴミ

私たちは、古町に若者が集まるようなイベントの企画を目的として活動しています。アンケートをとった結果、古町でイベントをしても来ない人や音楽イベントに興味がない人が多いことが分かり、若者が集まりやすい音楽イベントを企画することにしました。まずはイベント運営のやり方を学ぶために潟マルシェに参加しました。潟マルシェでは、利益を出すことよりも、その場所でイベントを開催し、訪れた人にその場所を好きになってもらうことが大切だと学びました。また、イベントを行うには、物の配置を考えたり、設営や運搬を行ったりする人の協力が必要であることも分かりました。これらの経験をもとに、最終的には自分たちでイベントの企画書を作成する予定です。今回の活動を通して、地域を盛り上げるためのイベント企画の難しさと楽しさを学ぶことができました。

はじめに

私たちはふるまのレトロさに注目して、もっと若い人たちにふるまに訪れて欲しいと考え、活動しています。若い人たち、特にJK(女子高生)は映える写真を撮ってSNSに投稿することを生きがいとしています。そこで！JKが自慢できるようなレトロなお店をフリーペーパー(パンフレットの様なもの)にまとめ、紹介し、たくさんの人に楽しんでもらおうと思っています。さらにフリーペーパーだけでなく、JKのマストアイテムであるInstagramにも私たちの活動を投稿することで、より親しみを持ってもらえると考えました。自分たちの「好き」を織り込みながら制作しました。

みんなでレトロ、浴びてみない？

"Our Love Song"

TRAVEL NOTE

古町レトロ

JKが行く！タイムスリップ旅

JKによるJKのためのガイドブック

新潟南高等学校ではテーマごとに分かれて、探究活動をしています。私たちはふるまちのレトロさに着目し、もっともっとJKに写真を撮って楽しんでもらいたいと考え活動しています！

新潟南高等学校 SSGまちづくり班

STYLES First Floor Entrance 1970
Terrace Seat 90%
SEATTLE ARINA, WASHINGTON STATE, USA

524

鍋茶屋通り

高い建物や商店街が並ぶ道から一歩入るとタイムスリップしたような光景が！昔ながらの風景とJKのアンバランスさがkawaii

Mietta

青い壁とイギリスの国旗が特徴的な雑貨屋さん。店主さんが集めたビンテージ品がレトロkawaii。ここでしかない運命的な出会いがあるかも？

香里鐘

昭和の雰囲気が漂うノスタルジックな喫茶店。約50種類のメニューと、特注パンやワラのいろりワンダーがkawaii。静かにゆったりと過ごしたい方にぴったりです。

二兎屋

古町の人情横丁にある昭和レトロな雰囲気の喫茶店。店主さんが定年してから創られたお店の内装がkawaii。創業11年のこのお店では、一年を通して店主さんこだわりのスイーツが楽しめる。夏にはほどかき氷がかわいさ食べられます。

鍋茶屋通り

新潟港の開港により栄えた花街のメインストリート。日常とは違った静かな時間が流れてた！

柳都振興の芸妓さんたちも老舗料亭である鍋茶屋などにいくためによく通る道なんだとか。夜になるとまた違った雰囲気になるのかも？すずろさと和風な照明の相乗効果で写真映えしそう！夏に浴衣とか着てまた訪れたい場所…

新潟県新潟市中央区東堀通り8番町

おもむき！
二こぼんとてね調子

タイムスリップ
エモい風景文庫

歴史ある街なみ
古い時代からレトロな

鍋茶屋通り
JK
古町レトロ

TURN ME OVER

探究活動 まちづくりF班

レトロシティ古町 フリーペーパー

大通りから“見えた”

国道7号から見える青いお店が印象的な雑貨屋さん！ヨーロッパのおしゃれなビンテージ品が並んでいます
無人販売も行って好きな時間に立ち寄ることができます
学生でも手に取りやすい数百円のものがあり、他では見られないどってもレトロでおしゃれなものがそろっています！友達とおそろいで買ってもいいかも？

新潟市中央区職町1ノ町1964番地1

今年で50周年!!

昭和の雰囲気が漂うノスタルジックな喫茶店。約50種類のメニューと、特注パンやクラゲのいるカウンターなど、ここだけの魅力が満載。静かにゆったりと過ごしたい方にぴったりです。

新潟市中央区古町通6-978 富士堂ビル2階

二兎屋

マスターせんはまさかの南高校の先輩！！私たちの心を一気に奮起させるおしゃれでカッコいい内装は、趣味で集めていた昭和のインテリアでできているそうだ。先輩さすが、。。。
マスターせんにとってこのお店は常連さんや古くからの仲間と集まってお話をする居場所であり、人とのつながりの場であり、何年経っても色褪せない場所であることばとても伝わってくるほど温かい店でした！かま水はキンキンでふわふわだよ

新潟県新潟市中央区上大川南通6番町1202